

## 新型コロナウイルス感染対策下での学校生活についての要望（回答）

1 子どもたちの心身の健康成長を最優先にした学校生活とは何か、を教師だけでなく子どもたちにも考えさせ、自ら意見を言えるような雰囲気づくりや配慮を行う。

（回答：学び推進課）

教育大綱の考え方の転換にも記載されているように、「教え」から「学び」へ、「管理」から「自己決定」へをつくば市の全教員が目指しています。授業時間だけでなく、学校行事や学級活動等を含めた教育活動全体において、子どもたちには、自ら考え自ら判断できる資質能力を身につけていきたいと考えています。

2 マスクを外して良い場面を明らかにし（例えばしゃべらない時。または運動時など距離が保てている時）、適切に着脱できるように指導する。

（回答：学び推進課）

国や県の方針・通知を参考に、「つくば市学校再開ガイドライン」を改定し、熱中症の予防を優先した対応を行っており、気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い時や、その場の状況に応じて教員がマスクの着脱について指導しています。また、本人が暑さで息苦しいと感じた時は、マスクを外して良いと指導しています。しかし、子どもの発達段階によっては、自分で判断することが難しいことも考えられるので、その都度丁寧に指導するとともに、高学年の児童には1と同様、自ら考え自ら判断できる資質能力を身につけられるよう、指導していきます。

3 マスク着用により教師の表情が見えないことで子どもが不安になったり判断しにくくなったりするため、授業時にはなるべくマウスシールド等を着用する。また、換気をしっかり行うように徹底する。

（回答：学び推進課）

学校の教育活動において不安解消のためだけでなく、英語の発音など、マウスシールドの方が良いと思われる場面があります。しかし、マウスシールドは感染拡大防止には効果があるといわれている一方、感染予防には効果が薄いといわれているので、場面に応じてマウスシールドとマスクを適切に併用していきます。

4 宿泊学習の一律中止の代替には、バスでの長距離移動を伴う県外の学習ではなく、市内でなるべく短時間で移動をし、体験学習の時間を長く確保できる機会にすること。また、来年度以降は感染状況を検討した上で、筑波山登山と地元施設への宿泊や、茨城県内での宿泊学習、学校の体育館で防災キャンプ等の実施を検討する。遠足も近くの公園で行うなど体験の時間をなるべく長く確保する工夫をすること。

(回答：学び推進課)

学校行事については、一律に中止にするのではなく、内容や実施方法、代替案等について検討しています。実施する場合には、感染症対策を行った上で、安全に実施できるよう配慮します。児童生徒にとって学校行事はかけがえのないものです。少しでも思い出に残る学校行事を実現できるよう、児童生徒の安全に配慮しつつ、思いを大切にしながら、計画・実施できるよう努めていきます。

次年度については行事のねらいや教育的効果を考え、学校ごとに実態に応じて判断していきます。

5 図工や音楽の時間が減ったり、プール学習が中止になるなど、通常日課でないことに抵抗を感じる児童生徒が「学校は楽しい場所」と感じることをできるように、教室以外の居場所を確保する。図書室や校長室など、教師等の見守りのもと、自らやりたいことができるような環境が良いと考える。

(回答：学び推進課)

学校は楽しい場所と感ずるためには、教室以外の居場所の確保だけでなく、全ての教員が楽しいわかる授業、絆を感じられる学級づくりの推進が不可欠と考えています。

子どもの活動場所の範囲を広げる際には、感染予防対策を徹底して行います。

また、今までの学校生活にとらわれず、新しい生活様式の中で、子どもたちがのびのびと活動できるような取組を創造していきます。

## TX沿線地域に計画中の新設校等に関する要望書

1 夜間や休日に地域住民が利用できるように、図書室・音楽室・調理室等の学校施設の市民開放を行う。

(回答：教育施設課)

(仮称) 研究学園小・中学校については、小学校の図書室、家庭科室及び多目的室の地域開放が可能となるよう、設計を行っていきます。

(仮称) 香取台小学校については、家庭科室、図工室及び音楽室の地域利用が可能となるよう、設計を行っていきます。

(仮称) みどりの南小・中学校については、今後実施する設計業務の中で、市民が利用できるように、施設整備を進めていきます。

2 学校施設内もしくは児童クラブに併設の形で、市民が利用できる会議室やオープンスペースの設置をする。

(回答：教育施設課)

(仮称) 研究学園小・中学校については、上記1でお答えしたとおりです。

(仮称) 香取台小学校については、敷地内に児童クラブの施設と併設する形で、市民が利用できる会議室やフリースペースを備えた整備を計画しています。

(仮称) みどりの南小・中学校については、今後の設計業務を進めていく中で検討します。

3 図書館機能充実の要望が多いため、学校図書室を活用して地域住民が市立図書館の書籍を予約して貸出し・返却できる場所にする。学校図書室の市民開放ができない場合は、学校施設内の他の場所・もしくは児童クラブに併設する等検討する。またコミュニティ棟においても上記のような機能強化を図る。

(回答：教育施設課、中央図書館)

(仮称) 研究学園小学校の図書室については、土日祝日等に市民が利用できるようにするとともに、市立中央図書館と連携の上、市立中央図書館の書籍を予約して貸出・返却できるような場所とすることを検討しています。

(仮称) 香取台小学校については、同敷地内に児童クラブとコミュニティスペースが併設されることから、そちらでの対応を検討しています。

(仮称) みどりの南小・中学校については、今年度発注する設計の中で協議・検討していきます。

図書館機能の充実については、学校施設内に限らず、自動車図書館のサービスステーションの新設や、ブックポスト（図書返却ポスト）の増設など、様々な方法を検討し、市民の利便性向上を図っていきます。